

The 27th JAPAN TENT

世界留学生交流・いしかわ2014

ふるさと愛

Love for Our Hometown



報 告 書
Report

JAPAN TENT 開催委員会

【総合テーマ】

ふるさと愛

Love for Our Hometown

開催趣旨

日本で学ぶ世界各国・地域からの留学生 300 人を石川県に招き、国際交流を図るとともに、若者たちの夢と希望、そして日本の社会・文化・生活などについて意見を交換し合う「第 27 回 JAPAN TENT- 世界留学生交流・いしかわ 2014」を開催しました。

1988 年の第 1 回大会以来、四半世紀の歴史を重ね、これまでの参加者は 166 の国と地域から延べ 9000 人を数えています。既に留学を終えて帰国した方々は、日本と母国をつなぐ懸け橋として世界各地で活躍し、「地方からの国際化」を先駆けてきたジャパントの実は、かけがえのない石川の財産となっています。

今大会は「ふるさと愛」を総合テーマに、8 月 20 日から 7 日間、県内 19 全市町で行いました。まず留学生は 2 つのグループに分かれて、世界農業遺産認定の「能登の里山里海」と「白山ろくの里山」に直に触れる「石川の里山里海体験」に参加しました。石川の海・山・里の豊かな自然環境はもちろん、その中ではぐくまれてきた石川固有の生活・食・文化に理解を深めました。

次いで、留学生は県内の 2 つの家庭でホームステイを体験しました。家族の一員として日常の暮らしを体験することで、学生生活では接することの少ない、日本人の暮らしそのものを理解する機会となりました。また、留学生を迎え入れる県民、ボランティア学生は、自らのふるさとを知ることの大切さを学ぶとともに、民族や言葉を超えた心と心の交流の素晴らしさを体験しました。

私たちはジャパントが若者たちの未来への夢をはぐくむとともに、わが国の留学生受け入れ体制を支え、豊かな国際交流、実りある国際貢献、そして世界の恒久平和へと導くことを確信しています。

ジャパント・アピール 2014

ある著名な外交官の言葉があった。

「人間も、ワインも生まれ育った地域の気候、歴史、文化の産物だ」。「だから、その国やその国に住むひとびとを知るときは、その気候や、歴史や文化をよく知ることが大事だ」。

わたしたちは、ジャパントの事業を通じて、石川県内の各地域で、この地域の気候が育てた、食べ物を口にした。みんなと輪になって、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された「和食」を楽しみながら、この地域のひとたちと、心をひとつにできたと感じた。

お互いの歴史や文化を学び合うことの重要性を認識し、生きとし生きるものの大切を学んだ。

そのジャパントの心を世界に広めていこう。

【日 程】 Schedule

20 水

世界 85 カ国・地域からの留学生 300 人、
全国から金沢入り

9:00

オリエンテーション

11:30

歓迎式典

12:10

映画『武士の献立』鑑賞

14:30

金沢から能登、または白山ろくへ

NPO 法人ジャパント・ネットワーク主催事業

石川の里山里海体験(1日目)

●能登町「春蘭の里」●白山市「かんぼの郷」

21 木

9:30

NPO 法人ジャパント・ネットワーク主催事業

石川の里山里海体験(2日目)

●能登町「春蘭の里」●白山市「かんぼの郷」

14:30

小松、輪島など 16 市町へ 各市町でホストファミリーと対面

各市町歓迎セレモニー

22 金

↓

23 土

各市町プログラム

24 日

小松、輪島など16市町から金沢へ

10:30

金沢ホストファミリーとの対面式 [野々市市・内灘町含む]

11:00

「石川の食」交歓会

「パッテンライ!!」特別プログラム

25 月

8:45

JAPAN TENT 夏期大学

「金沢職人めぐり まるごと散歩」

13:30

JAPAN TENT 夏期大学

留学生トーク・フォーラム

JAPAN TENT アピール 2014

26 火

10:00

しいのき迎賓館に集合

11:00

さよならセレモニー

11:30

それぞれの帰路に



INDEX

開催趣旨

ジャパント・アピール 2014 1

日程 / INDEX 2

謝辞 3

歓迎式典 4

石川の里山里海体験・春蘭の里 5

石川の里山里海体験・かんぼの郷 6

小松プログラム 7

輪島プログラム 8

市町プログラム 9

「石川の食」交歓会 17

パッテンライ!! 特別プログラム 18

第27 回大会 フォトグラビア 19

金沢職人めぐり 25

金沢まるごと散歩 28

留学生トーク・フォーラム 29

「ジャパント大使」任命式 32

さよならセレモニー 33

留学生の出身国・地域・大学 34

留学生メッセージ 35

ホストファミリーメッセージ 37

NPO 法人ジャパント・ネットワーク 39

広報・報道 & ホームページ

大会経緯 / ボランティア 40

JAPAN TENT メモリアル 41

謝 辞



JAPAN TENT 開催委員会総裁

谷本 正憲

石川県知事

「第27回JAPAN TENT－世界留学生交流・いしかわ2014」を、世界85の国と地域から300人もの留学生の皆様にご参加いただき、本年度も成功裏に終えることができました。

開催にあたりご支援、ご協力を賜りました県民の皆様並びに関係各位に厚くお礼申し上げますとともに、ホストファミリーやボランティアの皆様には、今年も留学生を温かく迎えていただき、心から感謝申し上げます。

本大会は、世界各地からの留学生の皆様が、県民との交流を深めながら、石川の夏を体験するイベントであり、昭和63年の開始以来、これまでに延べ9,000人を超える留学生にご参加をいただき、現在では、規模、内容ともに我が国を代表する国際交流事業として高い評価をいただいております。

参加者の皆様には、様々なプログラムを通じて、本県が誇る食や伝統文化、里山・里海など豊かな自然に触れていただき、本県への理解を深めるとともに、県民の皆様との交流を通して「もてなしの心」を肌で感じていただけたことと思います。

いよいよ来年3月には、北陸新幹線が金沢まで開業することとなります。留学生の皆様には、「ふるさと愛」をテーマとした本大会への参加を機に、石川を「第2のふるさと」として、母国と石川との友好の架け橋となっただき、2度3度と石川に足を運んでいただくとともに、末永く石川の応援団になっていただくことを願っております。

最後に、本大会の開催にあたり、県民の皆様並びに関係各位の多大なるご協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げますとともに、今後とも、本県の国際化の更なる推進にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



JAPAN TENT 開催委員会会長

高澤 基

北國新聞社社長

「第27回JAPAN TENT－世界留学生交流・いしかわ2014」を成功のうちに終えることができました。留学生を温かく迎えていただいたホストファミリーをはじめ、関係の各省、経済団体、企業、大学など皆様方のご支援、ご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

本大会は、地方からの国際化や市民交流を目的として、1988（昭和63）年に始まり、今年で27年目を迎えました。今回、世界85の国と地域から300人の留学生が石川県入りし、これまでに参加した留学生は世界166の国と地域から9,000人を超えました。

今大会では、NPO 法人ジャパントレント・ネットワークと協力し、能登町「春蘭の里」と、白山尾口で1泊2日の「石川の里山里海体験」を実施しました。留学生は、石川の豊かな自然に触れ、そこに暮らす人々との交流の中で、日本の歴史や文化を理解する機会を持っていただきました。また迎える側の、ホストファミリーやボランティア学生、多くの県民にとっても、留学生と触れ合う中で、「ふるさと」を愛する気持ちの大切さを再確認できたと思います。

ジャパントレントに参加し、帰国後も情報発信しながら交流を続ける「アンバサダー・フォー・ジャパントレント」（ジャパントレント大使）は、今回で世界108の国と地域の395人を数えました。今後も大会の精神である「ふるさと愛」を世界に広める役割を果たしていただけると期待しています。

開催委員会は、このジャパントレントをさらに発展させていきたいと考えています。皆様方の一層のご支援、お力添えをお願い申し上げます。

8/20 水 Wed

歓迎式典



留学生を温かく迎え入れた歓迎式典



「石川の応援団として母国にPRしてほしい」と述べる谷本正憲開催委員会総裁（石川県知事）



「地域の歴史、文化を学び、日本を好きになっほしい」と呼び掛ける高澤基開催委員会会長（北國新聞社長）



地元ボランティア学生代表から留学生代表へ花束贈呈



映画「武士の献立」を鑑賞する留学生

歓迎式典（北國新聞赤羽ホール）

- 開会あいさつ……………谷本 正憲
JAPAN TENT 開催委員会総裁
（石川県知事）
高澤 基
JAPAN TENT 開催委員会会長
（北國新聞社社長）
- 参加留学生代表あいさつ……シチギウ・マルタ・エリソビエタ
（ポーランド・大阪大学）
- 参加留学生代表からホストファミリー代表へ花束贈呈
- 地元ボランティア学生代表から参加留学生代表へ花束贈呈

映画「武士の献立」鑑賞

総理大臣ビデオメッセージ



皆さん、こんにちは。そしてようこそ日本へ。いよいよ JAPAN TENTの夏がやってきました。ことしもまた世界中から 300人の留学生の皆さんを、美しい自然に恵まれた石川の地にお迎えできたことを大変うれしく思います。

この大会はことしで 27回目。長い間活動を続けてこられたことは本当にすばらしいことだと思います。

我が国で学ぶ外国人留学生は約 14万人。優秀な留学生の皆さんは、グローバル化を進める日本の大学

にとって欠かせない存在です。大学の国際化、そして教育と研究の質を高めることで、日本にいらっしゃる外国人留学生を将来 30万人まで増やしていきたいと考えています。

留学生の皆さんは日本の文化を世界中に知っていただく上でとても大切な方々です。日本に滞在する間、できるだけ多くの人と出会い、さまざまな経験をしてほしい。JAPAN TENTは、石川県の方々やその豊かな自然に触れる中で日本の文化への理解を深めていただく大変よい機会だと思います。

来年の春には北陸新幹線が開通します。東京と金沢が約2時間半で結ばれることで、多くの人が行き来し、地域の発展に結びつくものと思います。また同時に、草の根の国際交流がますます盛んになることを期待しています。

これから1週間、留学生の皆さんがすばらしい体験をされ、ここ石川県で芽生えた友情の輪が世界へ大きく広がっていくことを願っています。

最後になりましたが、留学生を受け入れていただいている石川県のホスト・ファミリーをはじめ、毎年、国際交流にご尽力くださっている方々に感謝申し上げ、私のメッセージといたします。

2014年8月20日 内閣総理大臣 安倍 晋三

8/21

木
Thu

NPO 法人ジャパンテント・ネットワーク主催事業

石川の里山里海体験 能登町「春蘭の里」

世界農業遺産の里山里海の恵み満喫

能登半島の山あい広がる能登町の農家民宿群「春蘭の里」では135人の留学生が24の民宿に分泊、20日は輪島塗の食器で夕食を味わいました。21日は野菜やクリの収穫、海での貝採り、わら細工、竹で食器を製作して流しそう麺を味わったりと、世界農業遺産「能登の里山里海」に親しみました。

<体験プログラム例>

- ◎野菜収穫体験
- ◎竹で食器を製作し流しそう麺を体験
- ◎川あそび体験
- ◎山里の生き物観察体験
- など



春蘭の里の農家民宿



いろりを囲んで輪島塗の食器で夕食を味わう



穏やかな能登の里海に感動



小さな巻貝のシタダメ採りを体験



自作の竹細工の箸と器で流しそう麺を楽しむ



野菜の種まきを体験



サツマイモを収穫して大喜び

8/21 木
Thu

NPO 法人ジャパンテント・ネットワーク主催事業

石川の里山里海体験
白山市「かんぼの郷」

白山ろくの雄大な自然に笑顔弾ける

20日は白山市の「かんぼの郷白山尾口」に宿泊しました。21日は 165人の留学生が4班に分かれ、手取川ダム湖、目附谷川、白山スーパー林道、手取キャニオンロードをそれぞれ訪れました。イワナのつかみ取りやトレッキング、ボートクルーズなどを体験することで、白山ろくの山里や自然の醍醐味を満喫しました。

<体験プログラム>

- ①イワナつかみ・溪流遊び体験
- ②白山スーパー林道散策体験
- ③手取キャニオンロードタンDEMツーリング体験
- ④手取湖ボートクルーズ体験

協力/白山ろく少年自然の家、中宮ふるさと塾



かんぼの郷白山尾口



イワナをつかみ歓声を上げる留学生



手取キャニオンロードを自転車で走破



白山の森を散策



手取湖でボートクルーズを楽しむ

8/21 木
Thu

24 日
Sun

小松プログラム

22日は九谷焼の絵付けや弓道、小松うどん作りを体験しました。
23日は書道や俳句作りを体験、夕方からは交流イベント「スモールワールド in KOMATSU」がこまつ曳山交流館前広場よろっさ
周辺で開かれ、市民と一緒に 12カ国・地域の料理を味わい、餅つき
などで交流の輪を広げ、国際色豊かな催しを楽しみました。

21 木

小松歓迎セレモニー (小松市民センター)

開会あいさつ……………和田 慎司
JAPAN TENT 小松市実行委員長 (小松市長)
歓迎あいさつ……………綾 美寿恵
JAPAN TENT 小松市実行委員会運営委員長
(小松市国際交流協会会長)
歓迎アトラクション………こどもマーチングバンド
(こばと保育園)
ホストファミリー代表あいさつ
留学生返礼あいさつ………アクニヤ・ウガルデ
マティアス・イグナシオ (チリ/筑波大学)



歓迎式典で自己紹介する留学生



九谷焼の皿や茶碗に絵付けを施す

22 金 → 23 土

小松の文化体験

小松の特色ある歴史・文化・伝統工芸を体験しました。

- 8/22[金]…… 九谷焼絵付け(西盛友堂)
小松うどん手打ち (小松うどん道場つるっと)
弓道(小松市桜木体育館)
- 8/23[土]…… やってみよう「書」(ラブ・シンヤ「石蔵」)
安宅の関名所巡り(安宅住吉神社・勸進帳ものがたり館)
俳句会(那谷寺普門閣)
日用荳の里見学会(叡智の杜事務局)



筆を走らせ書道を体験しました



弓を構え、矢を射る留学生

23 土

交流イベント 「スモールワールド in KOMATSU 2014」

- 時間/ 16:00～20:00
- 会場/ 花道広場よろっさ・れんが花道通り
- ◆ワールドステージ ◆世界の食ブース
- ◆和文文化歌舞伎体験 (16:00～18:00/こまつ曳山交流館みよっさ)

24 日

さよならセレモニー (小松市役所)



きねを上手に振って餅つき体験

8/21 木
Thu24 日
Sun

輪島プログラム

22日午前は坐禅、そば打ちを体験、午後からは工房長屋で輪島塗の蒔絵創作に取り組みました。23日はホスト家族と朝市通りの散策や千枚田など、世界農業遺産の里山里海を見て回りました。夜は笛や太鼓が鳴り響く中、大松明の回りをキリコが乱舞する輪島大祭を見学、勇壮な能登の夏祭りを堪能しました。

21 木

輪島歓迎セレモニー

- 歓迎あいさつ……………梶 文秋
JAPAN TENT 輪島実行委員長 (輪島市長)
- 留学生返礼あいさつ……ガンゾリグ・バダマーニャンボー
(モンゴル/新潟大学)

歓迎パーティー

- 歓迎あいさつ……………里谷 光弘
JAPAN TENT 輪島実行委員長
(輪島商工会議所会頭)
- 歓迎アトラクション (御陣乗太鼓)

22 金

坐禅体験 (總持寺祖院)

門前そば打ち体験 (そば禅)

昼食 (そば禅)

輪島漆芸美術館見学

輪島塗創作体験 (工房長屋)

グループに分かれて
輪島塗の創作体験をしました。

23 土

終日フリータイム (市内散策)

留学生は市内散策で、思い切り輪島を楽しむとともに、
無料で各種施設に入館しました。

24 日

金沢に向けて出発



歓迎アトラクションの御陣乗太鼓に見入る留学生



輪島が誇る工芸の蒔絵創作体験



グループに分かれてそば打ちにチャレンジ



能登の古刹・總持寺祖院で坐禅を体験

珠洲市、能登町、穴水町、七尾市プログラム

珠 洲 市

21 木 対面式

22 金 珪藻土コンロ工場見学・体験、坐禅体験、
禄剛崎灯台見学、シーカヤック体験学

23 土 フリータイム

24 日 金沢へ出発



珠洲に伝わる揚げ浜式の塩作りを体験



珪藻土でのコンロ作りを体験



臨済宗の古刹・吉祥寺で坐禅を体験

能 登 町

21 木 「聖地巡盃」体験
ロシア兵慰霊碑参拝、対面式

22 金 久田和紙によるうちわ作り、プラネタリウム鑑賞、
真脇遺跡縄文館・環状木柱列の見学、のと海洋ふれあい
センターでクラフト体験、磯の観察路散策

23 土 (夕方までフリータイム)
さよならパーティー、「ござれ祭り」参加など

24 日 金沢へ出発



能登町ござれ祭りでキリコを担ぐ



350年の伝統を持つ久田和紙でうちわを作る



ホスト家族と一緒に貝細工を楽しむ

2011年6月11日、羽咋市以北の4市4町の「能登の里山里海」が国連食糧農業機関（FAO）が創設した制度「世界農業遺産（GIAHS）」に認定されました。日本国内では第1号の認定です。2013年5月宝達志水町が加わり、4市5町となりました。

※世界農業遺産（GIAHS：Globally Important Agricultural Heritage Systems）は、社会や環境に適応しながら何世紀にもわたり発達し、形づくられてきた農業上の土地利用、伝統的な農業とそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性に富んだ世界的に重要な地域を次世代へ伝承することを目的として、2002年に国連食糧農業機関（FAO本部：イタリア・ローマ）が創設した制度です。
※4市5町（珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、中能登町、志賀町、羽咋市、宝達志水町）

穴水町

21 木 のと里山空港見学、能登大仏見学、
対面式・歓迎レセプション

22 金 水引アクセサリ作り体験、空手体験、
能登ワイン醸造所見学、おはぎ作り

23 土 フリータイム

24 日 金沢へ出発



町特産ブランド「能登ワイン」をテイスティング



浴衣姿で茶道を体験



長谷部太鼓保存会の指導で太鼓を体験

七尾市

21 木 対面式、歓迎会

22 金 ジャンボかぼちゃ収穫、餅つき、笹餅作り、
太鼓体験、記念植樹、スギヨ見学

23 土 フリータイム

24 日 お別れ式、金沢へ出発



高階公民館で笹餅を作る



直径1メートルを超えるジャンボカボチャを収穫



高階くれない太鼓を教わる

中能登町、志賀町、羽咋市、宝達志水町プログラム

中能登町

21 木 対面式

22 金 織物デザインセンター見学・体験、
能登上布会館見学・体験、道の駅見学、
雨の宮古墳見学、タペストリー製作

23 土 フリータイム

24 日 お別れ式、金沢へ出発



能登上布記念館で機織りを体験



織物デザインセンターで新作の着物を試着



中能登町産のポリエステル生地でタペストリー製作

志賀町

21 木 対面式、記念撮影、夕食会

22 金 (午前中フリータイム)
体験交流「壁かざり、フォトフレーム作り」、
みんなで作ろう日本料理、食事会&交流会

23 土 フリータイム

24 日 お別れ式、金沢へ出発



中浜地区の祭礼で神輿を担ぐ



食事会&交流会では琴の演奏が披露された



ホストと一緒にフォトフレーム作り

羽 昨 市

21 木 歓迎受入式、ホストファミリー・留学生紹介
記念撮影

22 金 剣道体験、流しそうめん、着物着付体験、
子ども琴教室演奏、琴体験、茶道体験

23 土 フリータイム

24 日 金沢へ出発



大きな声を上げて剣道を体験



夏の風物詩、流しそうめんに大喜び



しとやかな浴衣姿で琴をつまびく

宝 達 志 水 町

21 木 オリエンテーション（町の紹介）
対面式（自己紹介、記念撮影）

22 金 児童クラブと交流（ミニレクリエーション）、
巻き寿司作りに挑戦、うちわ作り、
ぶどう狩り

23 土 フリータイム

24 日 お別れ式、金沢へ出発



児童クラブの小学生とミニレクリエーションで交流



町のお母さんに教わり手巻き寿司を作る



好きな言葉や絵を描いてうちわを作る

かほく市、津幡町、白山市、川北町プログラム

かほく市

21 木 西田幾多郎記念哲学館見学、
対面式

22 金 富士通 IT プロダクツ見学、ぶどう狩り、
市内小学生との交流、お琴体験、留学生・
ホストファミリー・スタッフとの懇親会

23 土 フリータイム

24 日 お別れ式、金沢へ出発



郷土の偉人を紹介する西田幾多郎記念哲学館を見学



懇親会では留学生が歌を披露



KATS こどもスクールに参加し小学生と国際交流

津幡町

21 木 歓迎セレモニー

22 金 各国料理作りと流しそうめん、
ペーパークラフト体験

23 土 フリータイム

24 日 さよならセレモニー、金沢へ出発



それぞれの母国の料理を作って振る舞う



器用な手つきでペーパークラフト体験



さよならセレモニーで「ありがとう」の言葉を述べる留学生

白山市

21^木 対面式

22^金 白山手取川ジオパーク視察、化石調査体験、わら細工体験、白峰まちなか散策（重要伝統的建造物群保存地区）、交流パーティー

23^土 フリータイム

24^日 金沢へ出発



白山恐竜パーク白峰での化石探し



交流パーティーでホスト家族と親睦を深める



白山ろく民俗資料館でわら細工に取り組む

川北町

21^木 対面式

22^金 町長表敬訪問、留学生との料理交流会、紙すき体験（加賀雁皮紙）、「川北かるた」で交流会

23^土 フリータイム

24^日 別れの集い、金沢へ出発



町特産の雁皮紙作りを体験



母国の料理を作って紹介しました



家族と町のショッピングセンターでお買い物

能美市、加賀市プログラム

能 美 市

21_木 市長表敬訪問、対面式

22_金 九谷焼絵付け体験、九谷陶芸村散策、和菓子作りと煎茶体験

23_土 フリータイム、(以下自由参加)ゆず大学参加、辰口まつり・じょんから踊りコンクール参加 [Nomi 国際交流協会の「NIFA チーム」に合流]

24_日 さよならセレモニー、金沢へ出発



九谷焼陶芸館で絵付けを体験



煎茶をいただき心から和む



辰口まつりに浴衣で参加し踊りを楽しむ

加 賀 市

21_木 ウェルカムパーティー

22_金 そば打ち体験、高校生と一緒に俳句作りに挑戦、加賀の温泉水で染めるシルクスカーフ染め&足湯で一服

23_土 フリータイム

24_日 お別れ式、金沢へ出発



お世話になるホスト家族と対面



高校生と一緒に俳句を作る



思い出を胸に最後の記念撮影

野々市市、内灘町プログラム [金沢プログラムと同時開催]

野々市市

24日 対面式、「石川の食」交歓会(自由参加)
ウェルカムパーティー

25日 金沢職人めぐり まるごと散歩
(古代アクセサリー「勾玉」作り)
留学生トーク・フォーラム

26日 さよならセレモニー



大きな声を出して元気に空手体験



お世話になるお父さん、お母さんと親睦



こんなに可愛い妹ができました

内灘町

24日 対面式、「石川の食」交歓会(自由参加)
夕涼会(茶道や琴の演奏、線香花火)

25日 金沢職人めぐり まるごと散歩
(和菓子づくり体験「生菓子」)
留学生トーク・フォーラム

26日 お別れ式、さよならセレモニー



ホストの家族と「風と砂の館」を見学



夕涼会では琴の演奏にうっとり



石川の妹に「話せなくても愛がある」のメッセージ

8/24 日 Sun

対 面 式 「石川の食」交歓会

対面式

温かい「もてなしの心」実感

県内 16市町から金沢に戻り、お世話になる金沢市、野々市市、内灘町のホスト家族と対面しました。



笑顔で握手を交わすホスト家族と留学生



「お世話になります」とホスト家族にあいさつ

「石川の食」交歓会

ホスト家族と 伝統の加賀料理味わう

対面を終えた留学生とホスト家族は、じぶ煮や鯛の唐蒸し、五郎島金時の冷製スープなどをともに味わいながら、親しく語り合いました。長い歴史と文化が培った金沢の食文化に理解を深めました。

ステージでは留学生がアフリカのダンスで盛り上がりました。



料理の品定めをするホスト家族と留学生



美味しい料理を食べながらホスト家族と歓談



留学生がアフリカンダンスを披露

8/24^日
Sun

→ 25^月
Mon

The 27th JAPAN TENT

パッテンライ!! 特別プログラム

石川の偉人・八田與一技師の足跡学ぶ

台湾出身の21人を中心とした留学生が、台湾南部の水利事業に尽力した八田技師の出身地である金沢市花園地区でホームステイし、日台友好の思いを込めて地区の住民らと交流しました。

24^日

八田技師の母校・花園小学校で
清掃奉仕活動

花園小学校「花園いじん館」見学

花園歓迎会

花園サマーフェスティバル参加

25^月

金箔貼り体験

八田技師生家

「八田家住宅（国登録有形文化財）」見学

アニメ映画

『パッテンライ!!～

南の島の水ものがたり』鑑賞



八田技師の生家を見学



輪踊りで地域の住民と交流する留学生



公民館で金箔貼りを体験



台湾出身の留学生らが歓迎会に参加

[参加受付・歓迎式典]

期待を胸に石川に集う留学生



留学生の受け入れの準備をするボランティア学生



期待を胸に受付登録をする留学生



世界85カ国・地域の留学生を温かく迎えた歓迎式典

[石川の里山里海体験]

能登・加賀の自然と暮らしを満喫



クリの収穫を体験する留学生(能登町)



童心に返って溪流遊びを満喫(白山市)

[対面式]

心通わせ合う留学生と家族



「いらっしやい」「お世話になります」と笑顔で交歓



すっかり打ち解けた表情の留学生と家族



金沢で小さな弟が3人もできました

「石川の食」交歓会]

美味しい料理で交歓深める



目にも美しい加賀料理が並び



美味しい料理は人を笑顔にしてくれる



加賀料理に舌鼓を打つ留学生たち

[市町プログラム]

石川のもてなしの心と

丸谷焼の窯元で皿や茶碗に絵付け体験(小松市)



花のミュージアムフロッリイでフォトフレーム製作(志賀町)



真剣な表情で剣道を体験する留学生
(羽咋市)



町を紹介する「川北かるた」で交流
(川北町)



見附島を眺めながらシーカヤックを楽しむ(珠洲市)



ホスト家族とひがし茶屋街を散策(金沢市)



ペーパークラフトでフレームを作る(津幡町)



ふるさと愛に触れる

みんなで力を合わせてジャンボカボチャを収穫
(七尾市)



ぶどう狩りを楽しむ(玉達志水町)

辰口まつりに参加し踊りを楽しむ(能美市)



ホストのお父さん、お母さんと町を散策(能登町)



坐禅で精神統一(輪島市)

穴水湾のボート体験に大満足(穴水町)



お世話になったホスト家族と最後の記念撮影(白山市)

[金沢職人めぐり まるごと散歩]

伝統の手わざ、「和の心」を体感



「きもの着付け」体験で長町を散歩



加賀野菜を使った料理づくりを楽しむ留学生



いけ花を通して和の心を感じ取る留学生

地元学生と金沢の街散歩



金沢金箔工芸を体験した後でひがし茶屋街を散歩



松涛庵で茶道体験を終えて香林坊まで散歩



加賀野菜料理を体験して尾山神社まで散歩

[留学生トーク・フォーラム]

石川の和食の魅力 語り合う



石川で味わった和食の魅力を発表

[ジャパネット大使任命式]



ジャパネットの精神を未来につなぐことを誓い合う

[さよならセレモニー]

石川の家族と 「また会おう」と誓い合う



ボランティア学生代表が再会を誓ってメッセージ



Tシャツに思い出の寄せ書きをする石川の妹



家族とバスが出発する間際まで語り合う



石川県のPRキャラクター・ひやくまんさんを囲んで記念撮影

伝統の手わざ、「和の心」を体感

伝統料理、金箔工芸や和菓子づくりなどのコースに分かれ、石川の工芸、文化を 20 会場で体験しました。留学生は加賀百万石の歴史と伝統が培った石川の文化、美術工芸の奥深さを理解しました。



茶道体験

【会場】金沢 21 世紀美術館松涛庵（表千家）
【協力】石川県茶道協会

【会場】／時雨亭（裏千家）
【協力】石川県茶道協会

金沢の由緒ある茶室で一期一会のもてなしの心に触れ、お茶の飲み方や作法を教わりました。石川が誇る美術工芸品の茶道具も手に触れて鑑賞しました。

- 茶の湯体験
- お道具拝見



落雁づくり

【会場・協力】森八

和菓子は五感で味わう総合芸術であり、日本人の美意識や季節感が凝縮されています。金沢の老舗和菓子舗の森八で落雁づくりを体験しました。

- 落雁づくり体験
- 木型美術館見学



生菓子づくり

【会場】石川県観光物産館
【協力】石川県菓子工業組合

金沢は加賀藩の藩政時代から茶の湯が盛んな土地柄です。お茶には上生菓子が欠かせませんが、菓子職人の指導で生菓子を作りました。

- 生菓子づくり体験



巻き寿司づくり

【会場】北國文化センター キッチンスタジオ
【協力】北國文化センター

日本のお祭りやお祝いの日の食卓を飾る巻き寿司をつくり、味わうことで日本人が培ってきた味覚と食へのこだわりを体感しました。

- 飾り巻き寿司づくり体験



伝統料理体験

【会場】加藤キッチンスタジオ
【協力】加藤キッチンスタジオ

藩政時代から伝わる夏の加賀料理のひとつである、なすそう麺と外国でも人気の高い天ぷらをつくり、和食の醍醐味を体感しました。

- 天ぷら、なすそう麺づくり



加賀野菜料理

【会場】近江町市場商店街
近江町いちば館広場
【協力】加賀野菜保存懇話会

金沢では金時草、加賀太きゅうり、源助大根、加賀蓮根などの独自の野菜がつくられています。加賀野菜を使った家庭料理をつくりました。

- 講義「加賀野菜のおいしさ」
- 加賀野菜料理づくり体験



加賀水引

【会場】津田水引折型
【協力】津田宏

水引は贈る心を表す飾り紐のことで結納飾りや慶事、身近な祝儀袋などに使われます。色とりどりの水引を結び上げ、小物アクセサリをつくりました。

- 水引体験



金沢金箔工芸

【会場・協力】箔座 ひかり蔵

金沢は金箔の生産量が日本一であり、金箔工芸が盛んな土地柄です。輝きに満ちた金箔工芸を実際に体験しました。

- 金沢金箔工芸体験



加賀毛針ブローチ

【会場】北國新聞会館
17階 171会議室
【協力】目細八郎兵衛商店 目細伸一

藩政時代から貼釣りには昆虫を模した疑似餌、毛針が使われています。伝統の技を現代に生かし、繊細で美しい毛針のブローチをつくりました。

- 加賀毛針 ブローチづくり体験



邦楽器（琴・尺八）

【会場】石川国際交流ラウンジ
【協力】石川インターヒューマンネットワーク

日本の伝統芸能に欠かせない邦楽器、琴、尺八の演奏体験を通して、日本古来の音楽や生活文化への理解を深めました。

- 琴体験
- 尺八体験



加賀友禅染付け

【会場】加賀友禅伝統産業会館
【協力】加賀染振興協会

繊細で美しい色彩や絵模様を特徴とする友禅染めは、金沢が世界に誇る伝統工芸のひとつです。加賀友禅の製作工程を学び、実際に染付け体験を行いました。

- 加賀友禅伝統産業会館見学
- 加賀友禅染付け体験



きもの着付け

【会場】長町公民館
【協力】石川県和装文化協会
津幡きもの着付け教室

日本の夏の風物詩のひとつが浴衣です。涼しげな浴衣と下駄姿に着替え、城下町の面影が残る長町武家屋敷界隈を散策しました。

- きもの着付け体験
- 浴衣姿で長町武家屋敷群を散策



いけ花

【会場】しいのき迎賓館2階
ガーデンルーム
【協力】天池 昌綾（草月流）

日本の文化から今や世界共有の文化にまで発展している「いけ花」。作法と精神について学び、実際に体験しました。

- 講義
- いけ花体験



坐禅

【会場・協力】大乘寺

金沢の禅宗の古刹・曹洞宗大乘寺で坐禅を組んで精神統一。禅とは何か、その心について修行僧たちと一緒に学びました。

- 講話『坐禅に取り組む心構え』
- 坐禅
- 法話



酒蔵見学・利き酒

【会場・協力】福光屋

石川県は酒どころとしても有名です。藩政時代から継承されている石川の地酒づくりを学ぶとともに、お酒のさまざまな種類を利き酒で体験しました。

- 酒蔵での講義とビデオ鑑賞
- 利き酒体験



味噌・醤油蔵見学と味噌汁づくり

【会場・協力】ヤマト醤油味噌
大野からくり記念館

金沢の海の玄関口として栄えた大野は、藩政時代からの醤油の産地です。伝統の技と心を学ぶとともに味噌汁をつくりました。

- 味噌・醤油蔵見学 ●講義
- 味噌汁づくり体験
- 大野からくり記念館見学



うちわ・着付け

【会場・協力】金沢学院大学

美術工芸王国・石川にふさわしい美術文化学部のある金沢学院大学キャンパスを見学し、うちわ製作と浴衣着付けを体験しました。

- うちわづくり体験
- 浴衣着付け体験
- 金沢学院大学内での交流会



日本の武道（杖道）

【会場・協力】金沢大学

日本にはさまざまな武道があります。その中から、杖道を実際に体験するとともに、武道が伝える日本の技と精神を学びました。

- 日本の武道（杖道）体験



古代アクセサリー（勾玉）づくり

【会場】野々市市ふるさと歴史館
【協力】御経塚縄文の会

勾玉は古代より魔除けの石、幸運を招く石として身に付けられてきました。滑石を素材に現代風の勾玉ペンダントを製作しました。

- 勾玉（まがたま）づくり体験



地元学生と街歩き楽しむ

体験後は、スマートフォン用情報アプリ「まるごと金沢アプリ」を活用し、地元ボランティア学生とともに金沢の街を散策しながら若者同士、交流を深めました。



しいのき迎賓館でいけ花を体験後に兼六園を散策



加賀友禅染め付けを体験して散策に出発



尾山神社でおみくじを引いて運を占う



金沢城公園を散策



「まるごと金沢アプリ」を使って散策を楽しむ留学生



若者同士ですっかり打ち解けて昼食

石川の和食体験報告

●コーディネーター

大内 浩

(金沢創造都市会議実行委員・芝浦工業大学名誉教授)

●報告者

ダング・ヴー・ミン・マリイ(フランス/東京大学)

ローズマリ・スライマン・ダウィッド(エジプト/早稲田大学)

ジワータナンコンクン・ピーラワット(タイ/関西大学)

グプタ・ラフル(インド/名古屋大学)



大内 浩

【大内】まずはパネラーの4人に、石川県で味わった和食の素晴らしさや驚いたこと、楽しんだ点を話してもらいましょう。

【マリイ】私は能美市のプログラムに参加しましたが、びっくりしたのは柚子です。フランスには柚子がありません。ドレッシングや柚子と大麦パンのフレンチトースト、ジュースとかいろいろ味わいました。フランスのレモンより酸っぱくない。それから、手巻き寿司もホストファミリーの子供と一緒に作りました。本当に楽しい体験でした。

【大内】手巻き寿司は、あらかじめ数種類の食材を用意しておいて、各人がそれぞれの好みの食材を選んで、オリジナルなものをつくることができます。

【大内】手巻き寿司は、あらかじめ数種類の食材を用意しておいて、各人がそれぞれの好みの食材を選んで、オリジナルなものをつくることができます。

柚子のおもしろいところは、普通は柑橘系だとジュースにしますが、

柚子は皮を薄くむいて使います。能登には柚餅子というお菓子もあります。これは柚子の中を繰り抜き、その中に餅を詰め物にして蒸し、長い時間かけて乾燥させてつくるものです。

【ローズマリ】私のホストファミリーは、運がいいことに魚屋さんでした。毎日、刺身や魚料理が多かったので魚文化に十分に触れることができました。一番印象に残ったのは、魚ではなく、笹餅と押し寿司です。普通のお寿司、回転寿司は食べたことがありますが、それらとは形が変わっていました。不思議だったので聞きました。押し寿司には長い歴史があり、押し寿司ができる前は、発酵させた「なれ寿司」が多かったそうです。腐らせないための保存方法としてなれ寿司があり、もっと長持ちするように、押し寿司ができたということです。これは、私たちが今食べているお寿司に一番近い形だと教えてもらいました。



ダング・ヴー・ミン・マリイ

笹餅は初めて食べました。葉っぱも食べようとしたら、笹餅をつくっていたおばあさんに「中身だけ食べるのよ」と言われて面白かったです。日本の保存方法とか、すごく印象に残りました。

【大内】今一番ポピュラーな握り寿司は、江戸時代に始まったファストフードです。江戸の人達はせっかちだから、さっと握って、さっと食べる。江戸は東京湾に近いので、比較的新鮮な魚があった。だから握り寿司は昔は、どこでも食べられるものではなかったんです。笹寿司は、昔は冷蔵庫がなかったので、魚や野菜を腐らせないための工夫、知恵ですね。笹には抗菌力がすごくあります。

【ピーラワット】私はタイ出身です。最初の日、能登町の春蘭の里に泊まりました。美味しかったのは、ミョウガのかつおぶし和えです。これは日本に来て初めて食べました。新しい味ですっきりしていて、フレッシュな感じがしました。それから、ホストファミリーのお母さんが作ってくれた、カボチャの天ぷらは甘くて美味しかった。スイカに塩をかけるともって美味しくなるということも教えてもらいました。

【大内】おもしろい体験をしたね。まさかミョウガが珍しかったという話が聞けるとは思わなかった。ミョウガは夏を感じさせる。ちょうど夏の時期にしか食べられないので、ミョウガ独特のしゃきしゃき感と香りの感覚は夏の味です。だからお刺身なんかと一緒に食べたり、かつおぶしとあえて食べたんですね。

【ラフル】私はホストファミリーと一緒に食事をしていて、レンコンの煮物とフキの漬物にちょっとびっくりしました。辞書で調べてみるとインドにもレンコンやフキはあるけれど食べません。食べられることがわかって本当に驚きました。

それと魚ですが、サバ焼きとアジ焼きも食べました。インドでは、魚はスパイスをつけて焼いたりとかして食べるんですね。日本ではスパイスをつけないまま食べるので、その魚がもともとどんな味をしているかがわかってきました。とても美味しいと思いました。

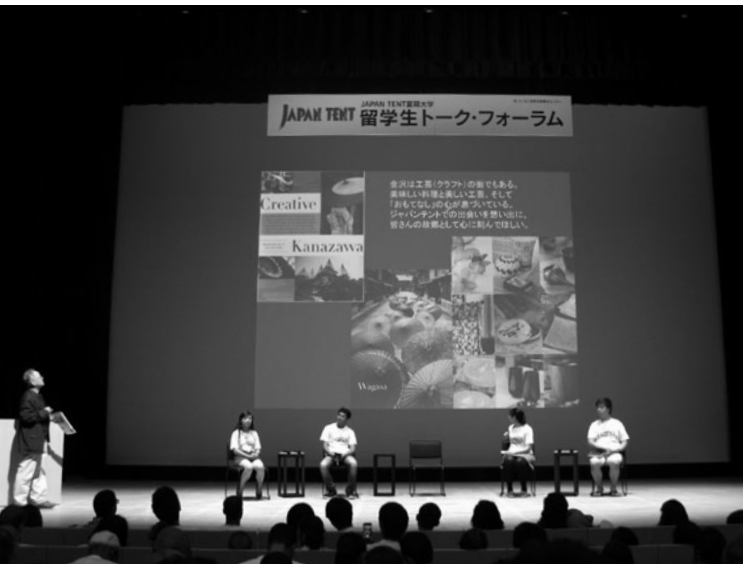
料理を食べることでその国の文化を知る

【大内】皆さん、それぞれ楽しい、美味しい経験をされたようですね。それでは、自分の国でなれ親しんだ味と、石川で味わった食べ物で一番違うと感じたのはどんなところですか。

【マリイ】一番の違いは味です。治部煮を食べましたが、日本料理はすごく繊細ですね。フランス料理はコースで食べるのでその点も違います。



ジワータナンコンクン・ピーラワット



【大内】日本にもコースで食べる懐石料理があります。冷たい、温かい、甘い、酸っぱい、辛いものなど、少しずつ味の違いを楽しみながら食べるんです。



グプタ・ラフル

【ラフル】インドの食べ物といえばカレーが有名です。たくさんのスパイスを使います。野菜とか鶏肉とか、それぞれによってスパイスも全然違う。日本はそれほどスパイスを使わないと思いました。

【大内】日本料理も柚子なんかもそうだけど、実はスパイスを結構使う。ただ、野菜や魚や肉、それ

ぞれの素材の持っている良さをできるだけ引き出してあげて、スパイスが必要であれば使えます。スパイスが前面に出るという考え方ではないんですね。

【ローズマリ】確かに日本食は本来の味を引き立てるのが特徴の一つだと思いました。エジプト料理の場合はやはり香辛料がよく効いていますね。

春蘭の里ではキノコやナス料理をいただきましたが、そのまま食べるのが基本でした。エジプトのナス料理は、調味料や香辛料を入れないと味がしない。エジプト人は薄い味はあまり好きじゃない。そこが日本とエジプトの食文化の決定的な違いだと感じました。

それぞれの国の料理を食べると、その国の文化も知ることができると私は思います。百聞は一見にしかずと言うように、私も日本料理について幾ら聞いててもわからない。しかし、実際に体験してみて、日本の食文化とはこういうものなのかと実感することができたと思います。

【大内】味わいも舌だけではなく、目で見て楽しみ、香りを楽しむ。料理は五感で味わうと日本では言われています。

【ローズマリ】もう一つ感じたのは、私は七尾にも行ったんですが、同じ石川県の中でも地域それぞれに食文化がある。七尾は魚が代表的な料理として有名ですが、春蘭の里ではナス料理などの山の料理でした。同じ石川でも、地域によってそれぞれの食文化があるというのを肌で感じました。

【ピーラワット】みんなで『武士の献立』という映画を観ました。

今日の朝は「金沢職人めぐり まるごと散歩」に参加し、僕は友達と一緒に、加賀野菜を使った料理や治部煮を作りました。治部煮は、見た目も味も美味しかったです。それから金時草のちらし寿司を作ったんですが、匂いも味も良かったです。

タイにはカーオヤムという言葉があります。ヤムは混ぜるで、カーオはご飯という意味です。金時草のちらし寿司は、タイのナシケラブという料理に似ていました。ご飯に野菜、魚に醤油みたいなナンプラーをかけて混ぜて食べるんです。特に野菜の味がカーオヤムと同じように感じました。

【大内】金時草は加賀野菜の代表的なものですが、ルーツを調べると東南アジアなんですね。タイやインドネシアから多分、船に乗ってやって来て、加賀野菜として定着していったんじゃないでしょうか。エジプトやインドもそうだけど、野菜のルーツを探ると世界中がつながっている。私達が考えている以上に食材はワールドワイドに、グローバルに変化している。それぞれの国に辿り着き、その地に合わせて変化しているんだと思います。

さて、会場の皆さんからも体験したこと、珍しいと思ったことなどを紹介してもらいましょう。

国や土地それぞれに食文化が発達していく

【会場】ベネズエラ出身のホセです。私も今朝、「金沢職人めぐり まるごと散歩」に参加し、へた紫ナスを使って、ナスそうめんを初めて作りました。夏の冷たい食べ物で、ナスをお茶に使う茶筌のような形に切る切り方が面白いと思いました。結構、美味しかったです。私の国ではスープや食べ物はほとんどが熱いもので、冷たいスープは日本で初めて体験しました。

【大内】なるほどね。夏に冷たいスープを飲む国の人はいますか。

【会場】私はロシア出身のアナです。ロシア料理で一番有名な夏のスープは、オクローシカと言います。ゆでたポテトやダイコン、タマネギ、ネギ、ゆで卵を切って、塩やサワークリーム、スパークリングウォーターの中に入れます。それから、加賀太



ローズマリ・スライマン・ダウィッド



キュウリのような太いものではなくて、細くて長いキュウリもスープに入れます。それを混ぜて食べます。

【会場】ミャンマー出身のギエです。私も今朝、「金沢職人めぐり まるごと散歩」で天ぷらを作りました。その時に、卵を食べられない人がいました。しかし、天ぷらは卵を入れないと作れないといわれて、びっくりしました。ミャンマーでは天ぷらは、卵を入れなくても作れます。衣の中にニンニクやショウガ、ユウガオとかを入れて揚げるんです。日本は衣に味はつけないで、そのまま揚げて、タレをつけて食べますね。ミャンマーは味噌の天ぷらに、酸っぱいタマリンドやパクチー、唐辛子やニンニクのタレにつけて食べます。それから、日本の納豆はねばねばしますが、ミャンマーの納豆はそんなにねばねばしない。煎餅みたいに作っていて、料理に入れたりします。

【大内】その納豆は日本ではテンペという名前で輸入されています。例えば、醤油ですが、能登で「いしり」を味噌にした人もいます。もともと魚のワタを塩漬けにして発酵させたものからできています。これは東南アジアのナンプラーがそうですが、世界にも似たようなものがあると思います。世界の食文化には共通性があります。

【会場】モンゴルから来ましたモコです。僕はジャパンテントで、川からイワナを獲って、その場でさばいて、そのまま焼いて食べるということを体験しました。和食はすごく複雑だと思っていましたが、シンプルなものもあるんですね。

味は全然違いますが、モンゴルの一つの料理と似ていました。モンゴルではみんなが集まると、羊をさばいてその場で焼いて食べます。バーベキューのように楽しみますが、これは世界共通なんですね。

【大内】動物に関しては日本の場合、魚や野菜に比べて、その場で調理するという方法はそれほど発達していない。中央アジアやヨーロッパ大陸のように、動物との関わりがそう多くはなかった。それぞれの風土、それぞれの土地によって食文化が発達していくということだと思います。

それでは、パネラーの4人の「おふくろの味」を教えてください。

石川でのつながりを次代にもつなげる

【ピーラワット】僕はタイの南の方で生まれてすぐにバンコクに引っ越しました。ですから南の方の魚のソース、お母さん手づくりの魚のソースです。辛いだけでなく甘いのもあって、いろんな料理に使えます。

【ローズマリ】エジプトの代表的な料理、コシヤリです。パスタとお米とレンズ豆、ヒヨコ豆、タマネギにトマトソース、エジプトの香辛料を入れて煮込みます。それを混ぜて食べるんです。

インターネット上でレシピが載っているので、皆さんもぜひ作ってみてください。全ての材料はそろっています。エジプトの香辛料さえあれば作れます。

【ラフル】私はジャガイモの入った野菜カレーです。辛くて濃くて、コクがあります。カレーの種類もいろいろあって、使う野菜によっても味は違います。日本で食べるカレーは何か物足りないですね。

【マリー】私はベトナム系のフランス人です。子供の頃、お母さんはフォーを作りました。今でも実家に帰るたびに作ってくれます。これは牛肉とかを入れた、ベトナムのスープ料理です。フランス料理はほとんど作りませんでしたが、フランス料理といえやはりチーズですね。カマンベールとかブルーチーズの味です。

【大内】皆さんから、いろいろな和食体験を聞きました。一緒に食事をするということは、美味しいものを食べるということは、本当にみんなの気持ちが和やかになります。世界には国と国がいがみ合ったり、政治的に難しい状態になることがあります。個人と個人のつながりでそれらを超えることができます。

皆さんは世界のいろんな国からここ石川県に来て、ホストファミリーの方々と出会い、さまざまな地域の方々と出会い、食を通してお互いにコミュニケーションを深めたのではないのでしょうか。そしてこのジャパンテントに参加することで、皆さんは友達同士になりました。友達という関係をお互いにコンタクトを取りながらつなげていってほしいと願っています。

金沢弁で地物のことを「じわもん」と言います。ここで皆さんが一体化したというのは、ある意味で「じわもんつながり」になったということです。じわもんつながりをみんなの財産として大切にして、次の世代にもつなげていってください。

「ジャパントメント大使」任命式

(アンバサダー・フォー・ジャパントメント)



ジャパントメントに参加した留学生とのネットワークづくりを担う「アンバサダー・フォー・ジャパントメント（ジャパントメント大使）」に各国・地域から30人が任命されました。彼らはNPO法人ジャパントメント・ネットワークにメールを寄せ、ジャパントメントで友情を育んだ留学生やボランティア学生、ホストファミリーとの絆をさらに深め、ジャパントメントの精神を世界に広める役割を担います。16回大会から創設され、これまでに108の国と地域からの参加者395人が任命され、それぞれの母国から連絡を寄せています。

■ 第27回大会で任命されたジャパントメント大使30人

シチギウ・マルタ・エリソビエタ	ポーランド/大阪大学
ガンソリグ・パダマーニャンボー	モンゴル/新潟大学
アクニヤ・ウガルデ・マティアス・イグナシオ	チリ/筑波大学
ボドナール・ペーテル・ペーラ	ハンガリー/名古屋大学
カキン・オクサナ	ロシア/お茶の水女子大学
ウッセン・ボタゴス	カザフスタン/東京大学
ロベス・ハイロ	ベネズエラ/早稲田大学
ペトコフ・カリン・ブラメノフ	ブルガリア/大阪大学
ダング・ヴァー・ミン・マリー	フランス/東京大学
ローズマリ・スライマン・ダウィッド	エジプト/早稲田大学
ジワータナンコンクン・ピーラワット	タイ/関西大学
ラフル・グブタ	インド/名古屋大学
ペイシー・マリエラ	ドイツ/立命館大学
ピアンカ・パトラシュ	ルーマニア/京都外国語大学
エル・ハフィ・ロトフィ	ベルギー/奈良先端科学技術大学院大学
ロンカイネン・トンミ	フィンランド/東北大学
ガイダル・ダリア	ウクライナ/熊本大学
アラス・モレノ・ナンシー・エウニセ	エルサルバドル/同志社大学
デニス・ステイブン・マテゲ	ウガンダ/筑波大学
カゲマ・ウィンフレッド・ンジェリ	ケニア/秋田大学
サンフォ・バッシロウ	ブルキナファソ/京都教育大学
ハナン・タヘ・アラクディ	イエメン/愛媛大学
ジュマ・アルガイディ	アラブ/東京国際大学
リナ・アルハッダード	シリア/京都大学
張 端文	台湾/純心女子大学
チョデン・ジャンペル	ブータン/麗澤大学
グレゴリス・セラン	東ティモール/新潟大学
範麗娟	中国/千葉大学
グエン・ミー・ロアン	ベトナム/茨城キリスト教大学
レオ・プリーストナル	オーストラリア/名古屋学院大学

■ ジャパントメント大使

第26回大会大使から届いたメール

26回ジャパントメントでは色々なことを体験させていただき、ホームステイ先の家族の皆さんには大変お世話になりました。ジャパントメントで出会った友達やホストファミリーとは、今でもお付き合いさせていただいています。



友達を作るチャンスがたくさんありましたが、私にとって一番意外だったのは、小学生の女の子と友達になれたことです。

大会5日目の「金沢まるごと散歩」が終わり、しいのき迎賓館で「JAPAN TENT in 金沢」が始まるのを待っていたとき、可愛い女の子が一人で絵を描いているのを目にしたので、思い切って声をかけてみました。彼女も午前中はホームステイをした留学生のお兄さんたちと街を散歩したようでした。しばらく二人で話したり、絵を描いたりしました。

「JAPAN TENT in 金沢」が始まったので別れましたが、最終日の「さよならセレモニー」で再会しました。さっそく、お互いの住所を交換し、さよならセレモニーの間中、そばにいました。

ベトナムに一時帰国し、日本に戻ってから彼女にお土産を送りました。すると彼女からも返事の手紙とプレゼントをもらいました。プレゼントも手紙もどちらも可愛らしく、しかも「ベトナムのおねえちゃん」と書かれていました。

私にとってジャパントメントは「お出会い」の連続でした。素晴らしいお出合いをありがとうございます。

2014年10月

グエン・ハイ・リーさん（ベトナム/神戸大学）

石川での再会、家族と誓い合う

JAPAN TENT実行委員長の普赤清幸県観光戦略推進部長が石川県のマスコットキャラクター「ひやくまんさん」とともに登壇。「石川県を忘れず、元気に頑張ってください」とあいさつ。ハンガリー出身のボドナール・ペーテルさんが「石川で日本人のありのままの生活を垣間見ることができました」と参加者を代表して感謝の言葉を述べ、ボランティア学生代表は「また金沢に遊びに来てください」と呼び掛けました。

続いて会場の留学生が次々とマイクを握り、お世話になったホスト家族やボランティア学生に感謝の気持ちを伝えました。最後まで名残を惜しみながら、それぞれの帰路につきました。

- 再会を期して……………普赤 清幸
JAPAN TENT 実行委員長
(石川県観光戦略推進部長)
- 留学生返礼あいさつ……………ボドナール・ペーテル・ペーラ
(ハンガリー／名古屋大学)
- ありがとうJAPAN TENT
メッセージ・セッション……………参加留学生
- さよならJAPAN TENT
また会いましょう皆さん……………坂下 美里 (金沢星稜大学)
越田 彩加 (金沢星稜大学)
三浦 悠介 (金沢工業大学)



普赤清幸県観光戦略推進部長が「ひやくまんさん」と一緒に登壇



留学生を代表して感謝の言葉を述べるボドナールさん



「また遊びに来て」と呼び掛ける地元ボランティア学生代表



思い出の寄せ書きでいっぱいのTシャツ



バスが出発する間際まで別れを惜しむ



手を振ってバスを見送るホストファミリー

参加留学生の出身国・地域・大学

- | | | | | | |
|-----------|-----------|-------------|------------|------------|------------|
| ① カナダ | ⑩ 中国 | ⑲ ウズベキスタン | ②⑨ シリア | ⑤⑩ スロベニア | ⑦⑥ メキシコ |
| ② インド | ⑪ ネパール | ⑲ ベトナム | ③② ヨルダン | ⑥② ブルガリア | ⑦⑦ ドミニカ |
| ③ インドネシア | ⑫ ブータン | ⑲ 香港 | ③③ ウガンダ | ⑥③ ポーランド | ⑦⑧ エルサルバドル |
| ④ 韓国 | ⑬ パキスタン | ⑲ マレーシア | ③④ アフガニスタン | ⑥④ ルーマニア | ⑦⑨ ホンジュラス |
| ⑤ カンボジア | ⑭ バングラデシュ | ⑲ ミャンマー | ③⑤ エジプト | ⑥⑤ ロシア | ⑧① ベネズエラ |
| ⑥ シンガポール | ⑮ フィリピン | ⑲ モンゴル | ③⑥ ガーナ | ⑥⑥ カザフスタン | ⑧② コスタリカ |
| ⑦ スリランカ | | ⑲ ラオス | ③⑦ ナイジェリア | ⑥⑦ グルジア | ⑧③ グアテマラ |
| ⑧ タイ | | ⑲ オーストラリア | ③⑧ タンザニア | ⑥⑧ フィンランド | ⑧④ エクアドル |
| ⑨ 台湾 | | ⑲ ニュージーランド | ③⑨ ベナン | ⑥⑨ アメリカ合衆国 | ⑧⑤ パラグアイ |
| ⑩ 中国 | | ⑲ パプアニューギニア | ④① モーリタニア | ⑦① キューバ | |
| ⑪ ネパール | | ⑲ トンガ | ④② トーゴ | ⑦② コロンビア | |
| ⑫ ブータン | | ⑲ アラブ首長国連邦 | ④③ ブルキナファソ | ⑦③ チリ | |
| ⑬ パキスタン | | ⑲ イエメン | ④④ 南スーダン | ⑦④ ブラジル | |
| ⑭ バングラデシュ | | ⑲ イラン | ④⑤ ケニア | ⑦⑤ ペルー | |
| ⑮ フィリピン | | | | | |



参加留学生の在学学校名

独立行政法人 公立大学

金沢大学／金沢美術工芸大学／富山大学／北海道大学／帯広畜産大学／弘前大学／秋田大学／国際教養大学／山形大学／東北大学／宇都宮大学／新潟大学／上越教育大学／長岡技術科学大学／筑波大学／千葉大学／東京大学／一橋大学／お茶の水女子大学／東京外国語大学／東京工業大学／電気通信大学／政策研究大学院大学／職業能力開発総合大学校／横浜国立大学／静岡大学／豊橋技術科学大学／名古屋大学／名古屋工業大学／愛知教育大学／愛知県立大学／岐阜大学／三重大学／京都大学／京都教育大学／京都工芸繊維大学／奈良先端科学技術大学院大学／大阪大学／大阪教育大学／大阪府立大学／神戸大学／広島大学／鳥取大学／島根大学／山口大学／高知大学／高知工科大学／愛媛大学／熊本大学／九州大学／九州工業大学／福岡教育大学／鹿児島大学／琉球大学

私立大学

金沢医科大学／金沢工業大学／金沢星稜大学／北陸大学／富山国際大学／青森中央学院大学／東北薬科大学／茨城キリスト教大学／新潟医療福祉大学／新潟経営大学／麗澤大学／早稲田大学／慶応義塾大学／立教大学／創価大学／青山学院大学／日本大学／駒澤大学／駒沢女子大学／亜細亜大学／学習院大学／学習院女子大学／拓殖大学／国土館大学／芝浦工業大学／東京農業大学／清泉女子大学／東京国際大学／東京情報大学／東京都市大学／杉野服飾大学／フェリス学院大学／愛知大学／名古屋学院大学／名古屋経済大学／名古屋商科大学／中京大学／鈴鹿国際大学／同志社大学／立命館大学／京都外国語大学／関西学院大学／関西大学／桃山学院大学／摂南大学／ノートルダム清心女子大学／神戸学院大学／甲南大学／流通科学大学／園田学園女子大学／純心女子大学

その他

JET 日本語学校／新宿日本語学校／東京日本語学校（長沼スクール）／文化外国語専門学校

留学生メッセージ



■「愛」は世界の共通語

文化や言葉が違って世界の人々には共通語があることを改めて確信しました。それは愛です。ジャパニテントを通して、ふるさと愛、家族愛、世界愛を経験することができました。私達が生きているこの世界がもっと平和になってほしいです。

ドウスレン・ムンフバト (モンゴル／京都大学)

■ 思い出が一杯できました

日本に来て初めてホームステイをしました。ホストファミリーと話したり、日本人の生活を学んだり、日本の文化を勉強することができて、本当に素晴らしい体験でした。短い時間でしたが、石川県で良い思い出が一杯できました。

リア・ヌルリアンティ (インドネシア／立教大学)

■ 映画「武士の献立」が良かった

日本の文化を見たり、日本語の実践勉強の機会になりました。映画「武士の献立」はとても良かった。侍は兵士だけではなくたつとわかり、面白かつたです。金沢の3日間はとても短く、家族とつとつ過ごしたかつたです。

ビジョウ・カメガン・マエル・サミ (カメルーン／三重大学)

■ 自然豊かな白山の里山に感動

ホストファミリーのみなさん、心温かく受け入れていただき、ありがとうございます。楽しい時間を過ごすことができ、本当に感謝しています。白山の里山を体験しましたが、空気が良く、とても自然が豊かなところだと感動しました。

タカハシ・ダリオ (アルゼンチン／東京農業大学)

■ 石川県が故郷になりました

ホストファミリーと留学生のみなさんのおかげで一生忘れない思い出になりました。石川県の優しさとおもてなしの心を感じました。故郷にいるように思えました。石川県は私の故郷になりました。出身を聞かれたら、『石川県です』と答えます。

アルガイディ・ジュマ (アラブ首長国連邦／東京国際大学)

■ いつかホスト家族と再会したい

石川県は自然に恵まれたきれいなところで、都会とは全然違う雰囲気を感じました。ホストファミリーや出会った人達とは関係を持ち続けたいと思います。今月帰国しますが、また日本に戻る機会があれば家族に会いに行きたいです。

スリジータ・サルカル (インド／名古屋大学)

■ 家族の一員になりました

日本に来て3年目ですが、これまで体験したホームステイの中で一番楽しい体験でした。ホストファミリーの優しさに心が打たれ、今でもメールのやり取りをしています。子供達とも仲良くなり、家族の一員になった気がしました。

ローズマリ・スライマン・ダウィッド (エジプト／早稲田大学)

■ 石川の「ふるさと愛」感じた

ホストファミリーとの出会い、人と人の交流、国境を超えた友情など、素敵な体験ができたと思います。母国とは違う「ふるさと愛」を感じさせてくれて感謝しています。この経験を忘れず、友達や家族にも伝えていきたいです。

ヘイン・マリー (カンボジア／青山学院大学)

■ 日本人の生活や考え方が分かつた

石川県は料理や景色が良く、県民の温かさとおもてなしを感じました。日本の「家族」と「ふるさと愛」という意味、日本人の生活や考え方なども分かつてきました。小松と金沢のホストファミリーは両方とも素晴らしい家族でした。心から感謝しています。

マティアス・イグナシオ・アクニヤ・ウガルデ (チリ／筑波大学)

■ 田舎の暮らしを身近に感じた

石川県の魅力は、食文化、人情、工芸、そして日本海などの自然の豊かさでした。方言を話す人達と過ごしたので、日本語能力も上達したと思います。日本人にとってのふるさとである田舎の暮らしを身近に感じることができました。

ボドナール・ペーテル(ハンガリー／名古屋大学)

■ 日本人の温かさを母国に伝えたい

今、中国と日本の関係はギクシャクしていますが、日本人と接すると緊張感は全然感じませんでした。中国に戻ったら、日本人の温かい気持ちを周りの人に伝えていきたいと思います。より多くの中国人に実際の日本を感じさせるように頑張ります。

エンジュンコウ
閻 俊 紅(中国／早稲田大学)

■ ベネズエラテントをつくりたい

美味しい料理や2つのホスト家族から愛されることで、ジャパンテントの「ふるさと愛」というテーマが私の心に伝わってきました。将来はベネズエラテントを企画することで、みんながベネズエラでホームステイをしに来てほしいと思います。

ホセ・ルイス・カスティーヨ・ペレズ(ベネズエラ／長岡技術科学大学)

■ タイで石川の魅力を紹介したい

日本はタイで人気があり、毎年たくさんの方が日本を旅行しますが、石川県や金沢は知られていません。私も知りませんでしたが、石川県は素晴らしいところでした。将来は旅行会社に勤め、石川県の魅力をタイ人に紹介したいと思います。

タックサポーン・ラットナラトーン(タイ／京都大学)

■ 一生忘れない思い出

あっという間の一週間でしたが、いろいろなことを体験しました。着物、茶道、剣道、琴など、初めてのことばかりで、毎日充実した日々を送りました。ホストファミリーは優しく、各国の留学生とも友達になりました。一生忘れません。

チョウタンブン
張 端 文(台湾／純心女子大学)

■ 母国のことも紹介したい

輪島ではキリコ祭りを見学し、金沢では初めて坐禅を経験しました。ジャパンテントに参加することで、母国をどう紹介したらいいのかわかるようになりました。今後は大勢の友達にフィンランドについて紹介したいと思います。

ロンカイネン トンミ(フィンランド／東北大学)

■ ホストファミリーと連絡取り合う

琴の体験は2回目でしたが、古い楽器で素敵な音色でした。金沢は古い街並みが残っており、京都のような雰囲気がしました。ホストファミリーと仲良くなり、別れる時は涙が出てきました。今でも連絡を取り合っています。

ド・ティ・オアイン(ベトナム／鳥取大学)

■ 一番大事なものは家族との絆

以前、似たようなプログラムに参加しましたが、ジャパンテントのほうが数百倍も楽しかった。忘れられない思い出をたくさん作りました。一番大事なものは家族の一員として、日本の家族の生活を体験させてくれたホストファミリーとの絆です。

マルタ・シチギェウ(ポーランド／大阪大学)

■ 石川県は第二の故郷

私がお世話になったホストファミリーの家はお寺でした。毎朝、お父さんと朝早く起きてお寺の鐘を鳴らしたり、お経を聞いたり、坐禅を体験したりしました。かつてない体験ばかりでした。石川県が第二の故郷になり、心から愛するようになりました。

トウシイン・アレクサンドル(ロシア／東北大学)

■ 日本を理解する価値ある体験

ジャパンテントは日本についての知識を深めるためにとても役立ったと思います。特に日本料理の文化や家族の日常生活を理解できるようになり、価値ある体験でした。これからの日本についての勉強に活かしていきます。

ペトコフ・カリン・プラメノフ(ブルガリア／大阪大学)

ホストファミリーメッセージ



■ 日本の夏を一緒に楽しむ

留学生はたどたどしい日本語を一生懸命使いながら、母国の文化や料理などを教えてくれました。名前だけしか知らない国を身近に感じることができました。浴衣を着たり、花火をしたり、かき氷を食べたり、日本の夏を一緒に楽しみました。

青野 沙代(金沢市)

■ 自然体でおもてなし

花の咲いている庭を案内したり、畑でナスの収穫を体験したり。留学生を受け入れるという姿勢ではなく、一緒に貴重な時間を自然体で楽しむことが大事ではないかと思いました。それこそが気取りのない“おもてなし”だと思います。

佐野 藤博(七尾市)

■ 孫のような気持ちで接する

今回が初めてでした。2,3日前までは何かと心配しましたが、とても感じの良い女性で、何事にも積極的で、自分の孫と過ごしているような気持ちで接することができました。また機会があれば受け入れたいと思います。

北村 清隆(川北町)

■ 無理せず受け入れることが大切

ブラジルの女性を受け入れました。日本の生活や文化に関心を持っていた人だったので、食事の準備も積極的に手伝ってくれ、話も弾みました。普通の生活を体験してもらえるように心掛け、無理せず受け入れることが大切だと思いました。

柏崎 三代治(宝達志水町)

■ 日本料理を一緒に作る

ミャンマーからの留学生でしたが、日本に来てまだ1年も経っておらず、日本の家庭で過ごすのがとても楽しみだったようです。国のことなど沢山話してくれました。日本料理の作り方にも興味があり、一緒に日本料理やミャンマー料理を作りました。

角田 雅子(白山市)

■ わが家にいながら国際交流

7回目の受け入れですが、わが家にいながら外国の方と交流ができます。永光寺での坐禅体験や千里浜での砂像作り体験が楽しいと喜んでもらい、私達も嬉しくなりました。他のホストファミリーも交えてバベキューもしました。

安達 直人(羽咋市)

■ 改めて日本文化を誇りに思う

今回で3回目。留学生はとても礼儀正しく、素直に日本の文化を体験していました。改めて日本の文化を誇りに思うとともに、他国のことも知ることができ、本当に楽しい機会でした。もっと沢山の家族にこの感動を味わってほしいと思います。

鳥井 俊介(能登町)

■ 家族の良い思い出に

留学生はとても明るく、すぐに家族と溶け込み、お餅と一緒に作ったり、孫と一緒にピアノを弾いたり、楽しいひとときを過ごしました。孫達も外国の方と自然に接し、楽しそうでした。初めての体験でしたが良い思い出になりました。

中川 久志・秀子(志賀町)

■ 英語と日本語ともに学び合う

2回目でしたが、前回同様、すぐに家族の中に溶け込んでくれました。特に長女にとっては妹ができたようで、音楽の話などで盛り上がっていました。長女は英語を、留学生は日本語を学びたいという、お互いの思いから会話が弾んでいました。

多田 葉子(中能登町)

■ 留学生を通して社会勉強

娘も女子大生ですが、外国の大学生との交流はとても良い社会勉強になります。地元の和太鼓チームの子供達と交流してもらいましたが、和太鼓を通して日本の文化を見せてあげられたと思います。今後も受け入れたい。

伊豆田 昭(穴水町)

■ 引き受けたことで世界観が広がる

とても素直な方だったので、困ることも無く、楽しい思い出しかありません。父も母も妹も楽しんでいました。留学生を通して外国への興味がわき、父も母も世界観が広がるので、また引き受けたいと喜んでいます。

山根 一恵(小松市)

■ 子供達も毎年楽しみにしている

今年で9回目、毎年、子供達がとても楽しみにしています。今年の留学生は2人ともとても気さくで、母国のいろんなことを教えてくれたり、私達の知らない日本を教えてくれたり、新しい発見がありました。

小堀 寛直(野々市市)

■ 子から孫へ受け継ぐジャパント

今年で25回目、子供から孫へとジャパントが受け継がれています。今年も楽しみにしていたので、無事終わり、良かったです。孫はもう、来年はどこ国の人かな、と楽しみにしています。

小山 洋子(津幡町)

■ 子供達にとっての良い刺激

家族でゲームをしたり、バーベキューを楽しんだりしました。異文化交流ができ、子供達にも刺激になったと思います。留学生が石川の自然や文化に感動している姿を見ることで、私達も石川の良い所が再確認できました。

大西 博之(白山市)

■ これからも協力します

留学生はそれぞれの国を代表するような人達で、優秀で意欲もあり、こちらの方が学ぶことが多いです。この素晴らしいプログラムをこれからも継続して行って欲しいです。微力ながらまた協力したいと思います。

江守 通子(金沢市)

■ 昔ながらの日本食でもてなす

お互いの国の生活ぶりを話し合うことで、改めて日本は幸せな国なのだと感じました。赤飯やすいぜん、みそ汁など、昔ながらの日本食を味わってもらいましたが、“おいしい”の言葉をもらい、ほっとしました。

山崎 美和子(輪島市)

■ 互いに確かめ合う気持ちが大切

初めての体験でしたが、家族全員楽しく過ごせました。言葉が互いに通じにくいこともありましたが、必死に確かめ合おうとすることが大切だと感じました。みんながこんな気持ちで生きていけたら、世界は平和になると思いました。

由田 敦士(能美市)

■ 留学生との再会が格別

今まで受け入れた留学生が冬に遊びに来て、スキーをしたり、結婚して奥さんを連れて来てくれたりと交流が続いています。今年の留学生も次は料理を作りに来てと言ってくれました。再会の喜びがまた格別です。

木谷 義広(能美市)

■ 外国人と接する自信がついた

今回が初めてで、ホームページから申し込みました。どの留学生も感謝の気持ちを常に持っており、優しい人が多いと感じました。私は英語が話せませんが、外国人と接する自信ができました。久しぶりに英語を勉強してみたいです。

中居 佳代(内灘町)

■ 大会1、2日目に「石川の里山里海体験」を主催、留学生が石川の自然と暮らしに触れる

8月20日、歓迎式典を終えた留学生は2つのグループに分かれ、能登町と白山市でそれぞれ宿泊し、2日間にわたり石川の里山里海を体験しました。

能登半島の山あい広がる農家民宿群「春蘭の里」では135人の留学生が24の民宿に分泊、20日は輪島塗の食器で夕食を味わいました。21日は野菜の収穫、クリの収穫、海での貝採り、竹で食器を製作して流しそう麺を味わったりと、それぞれの民宿で世界農業遺産の「能登の里山里海」に親しみました。

白山市の「かんぼの郷」に宿泊した165人は4班に分かれ、21日は手取川ダム湖、目附谷川、白山スーパー林道、手取キャニオンロードを訪れ、白山ろくの豊かな自然を満喫しました。



サツマイモの収穫体験をする留学生
(春蘭の里)



渓流に入って自然を満喫
(白山ろく)

■ 漆器カップのペアを県内全てのホスト家族に贈呈

27回大会で留学生を受け入れた県内のホストファミリー全家庭に記念の「特製曙フリーカップ・ペア」を贈呈しました。贈呈式は8月24日、しいのき迎賓館で開かれた『「石川の食」交歓会』で行われ、ホストファミリー代表に手渡されました。その他の県内全てのホストファミリーにもお届けしました。



ホストファミリー代表家族に記念品を贈呈する
下田武央NPO法人ジャパンテント・ネットワーク常務理事(左)



ホストファミリーに贈呈された
「特製曙フリーカップ・ペア」

■ ホームページで交流、情報交換



これまで任命された延べ395人の「アンバサダー・フォー・ジャパンテント(ジャパンテント大使)」とのメール交換をはじめ、9000人を超える参加留学生や県内ホストファミリー、学生ボランティアの交流、情報の窓口となっています。

<http://www.japantent.com/npo/>
E-mail:office@japantent.com

■ 役 員

[理事長] _____
福光松太郎(福光屋社長)

[常務理事] _____
下田 武央(グルーヴィ社長)

[理 事] _____
高澤 基(北國新聞社社長)
小田 禎彦(加賀屋相談役)
三谷 充(三谷産業会長)
中居 早苗(石川インターヒューマンネットワーク会長)

[監 事] _____
浜崎 英明(北國銀行常務)

■ 会員を募集しています

入会のご案内

●個人会員[年会費]…12,000円 ●法人会員[年会費]…60,000円

ご寄付のお願い 活動にご理解いただき、寄付金をお願いいたします

●個人[1口]……………10,000円 ●法人[1口]……………100,000円

【入会申し込み・お問い合わせ先】

NPO法人
ジャパンテント・ネットワーク事務局

〒920-8588 石川県金沢市南町2番1号北國新聞会館内
<http://www.japantent.com> E-mail:info@japantent.com
TEL 076-260-3470 FAX 076-260-3469



広報・報道 & ホームページ 大会経緯／ボランティア

■ポスター

県内在住の留学生をモデルにしたA全判の開催ポスター 700枚を制作。8月2日より各市町をはじめ、県内の大学、短大、行政機関、経済団体などに配布、掲示。

■開催プログラム

全日程の事業内容を収録した開催プログラム1650部を制作。8月18日に各市町、ホストファミリーなどに配布。8月20日の歓迎式典で参加留学生、来賓、一般参加者などに配布。

■ホームページ

第27回大会の開催概要、プログラム、過去の大会記録を掲載したインターネットのホームページを制作。

■北國新聞バブリシティおよび告知広告

- 7月 1日 「ホストファミリー募集」＜以後、複数回掲載＞
- 7月27日 27回大会を迎えて-1
- 7月31日 27回大会を迎えて-2
- 8月18日 27回大会を迎えて-3
- 8月19日 JAPAN TENT あす開幕
- 8月20日 JAPAN TENT きょう開幕
石川で日本の心、もてなしの心に触れる
- 8月21日 石川の里山里海体験、16市町プログラム
- 8月24日 金沢ホストファミリーとの対面式
「石川の食」交歓会、金沢職人めぐり まるごと散歩、
留学生トーク・フォーラム、さよならセレモニー
- 8月26日 さよならセレモニー
- 9月 8日 ありがとうジャパント-1
- 9月11日 ありがとうジャパント-2
- 9月14日 ありがとうジャパント-3

■大会経緯

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 5月 19日 事務局開設 | 8月 4日 第2回加賀地区連絡協議会 |
| 6月 3日 JAPAN TENT開催委員会総会 | 8月 5日 第2回能登地区連絡協議会 |
| 6月 5日 第1回加賀地区連絡協議会 | 8月 6日 第2回ボランティア学生リーダー会議 |
| 6月 6日 第1回能登地区連絡協議会 | 8月 6日 小松地区ホストファミリー説明会 |
| 7月 9日 第1回ボランティア学生全体会議 | 8月 6日 輪島地区ホストファミリー説明会 |
| 7月 4日 小松市実行委員会総会 | 8月13日 第2回ボランティア学生全体会議 |
| 7月23日 第1回ボランティア学生リーダー会議 | 8月20日 全国から留学生が金沢入り・開幕 |
| 7月15日 輪島市実行委員会総会 | 8月26日 閉幕 |
| 8月 3日 金沢地区ホストファミリー説明会 | |

■ボランティア参加学生 294人

<石川県>

金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、石川県立看護大学、石川県立大学、金沢学院大学、金沢工業大学、北陸大学、金沢星稜大学、金沢学院短期大学、金城大学、金沢星稜大学女子短期大学部、北陸学院大学短期大学部、金城大学短期大学、金沢工業高等専門学校、金沢伏見高校、翠星高等学校

<その他>

富山大学、福井大学、福井県立大学、信州大学、福島大、関西学院大学、関西大学、大阪商業大学、京都産業大学、岐阜聖徳学園大学、ノートルダム清心女子大学、上智大学、亜細亜大学、学習院女子大学、国士舘大学、立正大学、関東学園大学、上智大学短期大学部

ジャパント メモリアル

【第1回】「日本を支える留学生交流」

1988年(昭和63年)7月21日～24日

皇太子ご夫妻(現天皇・皇后両陛下)ご臨席

期間は4日、金沢市と能登・輪島市を会場に開催。輪島での歓迎レセプションには皇太子ご夫妻(現天皇・皇后両陛下)がご臨席、世界から参加した留学生を温かく励まされた。



【第2回】「心の交流・わかちあう未来」

1989年(平成元年)8月3日～9日

開催期間が1週間に延び、会場を金沢市と能登全市町村に拡大。地域に根ざした草の根の国際交流を図るため、全宿泊を一般家庭でのホームステイとした。



【第3回】「明日の世界をつくる若者の夢と希望」

1990年(平成2年)7月19日～25日

参加留学生がアジアを中心にヨーロッパ、南北アメリカなどに広がりを見せた。留学生シンポジウムでは「平和」をめぐって活発に討議した。



【第4回】「新しい世界と日本への期待」

1991年(平成3年)7月31日～8月7日

大会を支えるホストファミリーや支援団体が年々増え、ボランティアは総計5000人を数えた。市町村プログラムも工夫され特色ある受け入れが行われた。



【第5回】「“The earth mind”世界からのメッセージ」

1992年(平成4年)8月21日～29日

留学生の参加国・地域が飛躍的に伸び、72カ国・地域から留学生が参加。新たに加賀地区の5市町村が受け入れ、金沢会場では世界の料理屋台が登場した。



【第6回】「私の日本見聞録～夢」

1993年(平成5年)7月22日～29日

県内全市町村が留学生受け入れ

各国の大使館等の募集協力により、86カ国・地域の留学生が参加。また県内の41全市町村(当時)が受け入れ、石川県を挙げての国際交流イベントに成長した。



【第7回】「私の中の世界、私の中の家族」

1994年(平成6年)8月4日～11日

過去最多の100カ国・地域からの留学生に加え、外務省招聘の「第21回東南アジア元日本留学者の集い」52人も初参加。国際交流はさらに充実した。



【第8回】「私たち地球市民・交流から貢献へ」

1995年(平成7年)7月27日～8月3日

国際交流推進で外務大臣表彰受賞

歓迎式典、歓迎レセプションに紀宮さま(当時)がご臨席。留学生たちと和やかにご歓談なされ、地元ボランティア学生の活動も励まされた。



【第9回】「私たち地球市民・コミュニケーションは言葉を超えて」

1996年(平成8年)8月1日～8日

インターネット上でジャパントのホームページを開設。世界各地への情報発信と情報交換が可能となるなど、国際交流のさらなる推進を図った。



【第10回】「21世紀、世界共生への道」

1997年(平成9年)8月1日～8日

ガリ元国連事務総長招き「世界フォーラム」を開催

ガリ氏の特別講演、世界6カ国の大使・公使からの特別レポート、マハティール・マレーシア首相(当時)とのテレビ会議を開催。小杉隆文大臣(当時)をはじめ中央省庁、経済界から多数参加いただいた。



【第11回】「限りある地球：21世紀、世界共生への道」

1998年(平成10年)7月30日～8月6日

事業内容の充実を図りジャパント夏期大学を創設。ガリ元国連事務総長の基調講演をはじめ、留学生シンポジウム、世界特派員フォーラムを実施した。



【第12回】「21世紀、人と地球の共生：アースマインドの時代」

1999年(平成11年)7月30日～8月6日

国際日本文化研究センター教授だった川勝平太氏をコーディネーターに迎えてプログラムを改編。「アースマインド」をテーマに留学生国際シンポジウムを行った。



【第13回】「グローバルマインド:地球の中のJAPAN TENT」

2000年(平成12年)7月28日～8月4日

「平和と共生」をテーマに元国連事務次長・明石康氏の特別講演を開催。日本の伝統文化や工芸を学習体験する金沢職人大学校も19コースに拡充した。



【第20回】「ふるさと愛」

2007年(平成19年)7月28日～8月4日

記念事業として桂文珍氏の特別講演、タイ、中国、アルバニアなどからの参加者による「参加留学生OBサミット」を開催。20回の節目を祝うとともに、地球市民としての自覚を語り合った。



【第14回】「石川で知る 日本人の心」

2001年(平成13年)7月27日～8月3日

文部科学省の「留学生交流功労者表彰」受賞「石川で知る 日本人の心」を総合テーマに五木寛之氏の特別講演を実施。留学生受入れ制度100年記念「留学生交流功労者表彰」が文部科学省から授与された。



【第21回】「ふるさと愛」

2008年(平成20年)8月21日～27日

留学生やホストファミリーが参加しやすいよう期間を8月下旬に設定。金沢職人大学校は2日に拡充、23コースを開講、留学生は2つの講座を体験した。



【第15回】「石川で触れる『ふるさと』の心」

2002年(平成14年)7月26日～8月2日

特別プログラムとして緒方貞子元国連難民高等弁務官の記念講演を行った。ミャンマー、中国から参加留学生OBを招き、ジャパントの意義を再確認した。



【第22回】「ふるさと愛」

2009年(平成21年)8月20日～26日

「留学生による舳倉島調査」を行い、あ・まくだなと氏をゲストに迎えて留学生国際シンポジウムを開催した。また、約90年前に台湾の利水事業に尽力した金沢市出身の八田與一技師の足跡を訪ねる特別プログラムも実施した。



【第16回】「禅と善のふるさと 石川」

2003年(平成15年)8月1日～8日

「禅と善のふるさと石川」を総合テーマに板橋興宗總持寺祖院住職(当時)の基調講演などで、石川の精神風土と文化土壌を学ぶ。初代ジャパント大使35人が任命された。



【第23回】「ふるさと愛」

2010年(平成22年)8月19日～25日

76の国・地域から300人が参加。宗教学者の山折哲雄氏、作家の青木新門氏、日本子守唄協会理事長の西館好子氏を招き、留学生国際シンポジウムを開催した。



【第17回】「ふるさと石川 もてなしの心」

2004年(平成16年)7月30日～8月6日

「ふるさと石川 もてなしの心」を総合テーマにウエルカム石川茶会を実施。留学生は茶の湯の心、一期一会に込められた石川のもてなしの心に触れた。



【第24回】「ふるさと愛」

2011年(平成23年)8月18日～24日

留学生国際シンポジウムでは、3月11日に起こった東日本大震災に寄せられた各国からの復興支援、ボランティア活動についても語り合う。国や民族を超えた友情の絆の大切さを再確認した。



【第18回】「ふるさと、たくみの心」

2005年(平成17年)7月29日～8月5日

「ふるさと、たくみの心」を総合テーマに、金箔、陶芸、漆、加賀友禅、和菓子など、石川が受け継ぐ職人の手わざを体験。日本のものづくりの心を学んだ。



【第25回】「ふるさと愛」

2012年(平成24年)8月23日～29日

ベトナム、中国、ブルガリアの参加留学生OBを交えて、同窓会の「留学生国際シンポジウム」を開催した。また、「私のふるさと、お国自慢」をテーマにしたビデオ・メッセージを募集、世界各国から届いたビデオを各会場などで放映した。



【第19回】「ふるさと愛」

2006年(平成18年)7月29日～8月5日

皇太子さま留学生を励ます

皇太子さまが金沢城公園で行なわれた「ジャパント大使の集い」をご視察。ジャパントの精神を世界に広げる留学生に励ましの言葉を贈られた。



【第26回】「ふるさと愛」

2013年(平成25年)8月22日～28日

地元ボランティア学生と留学生が小グループで金沢の街を散歩しながら交流を深める「金沢まるごと散歩」を新たに開催。また、5人の留学生代表が石川の夏まつりを体験、「留学生トーク・フォーラム」で映像も交えて報告した。



JAPAN TENT は、各省をはじめ数多くの団体、企業の温かいご支援のもとに開催されます。ありがとうございます。

【後 援】

- ・内閣府
- ・外務省
- ・文部科学省
- ・厚生労働省
- ・農林水産省
- ・経済産業省
- ・国土交通省
- ・総務省
- ・(公社) 経済同友会
- ・(一社) 日本経済団体連合会
- ・独立行政法人 国際協力機構
- ・独立行政法人 国際交流基金
- ・独立行政法人 日本学生支援機構
- ・(公財) 留学生支援企業協力推進協会
- ・(公財) 国際文化フォーラム
- ・石川県
- ・県内 19 市町
- ・石川県教育委員会
- ・(公財) 石川県国際交流協会
- ・石川県健民運動推進本部
- ・北陸経済連合会
- ・石川県商工会議所連合会
- ・(一社) 金沢経済同友会
- ・(一社) 石川県経営者協会
- ・石川県商工会連合会
- ・金沢・小松・輪島商工会議所
- ・石川県医師会
- ・金沢市医師会

【協 力】

- ・(公財) 双日国際交流財団
- ・(公社) 日本青年会議所北陸信越地区石川ブロック協議会
- ・(公社) 金沢青年会議所
- ・(公社) 小松青年会議所
- ・(一社) 輪島青年会議所
- ・石川県中小企業家同友会
- ・金沢大学
- ・北陸先端科学技術大学院大学
- ・石川県立看護大学
- ・石川県立大学
- ・金沢美術工芸大学
- ・金沢工業大学
- ・金沢星稜大学
- ・金沢医科大学
- ・金沢学院大学
- ・北陸大学
- ・金城大学
- ・北陸学院大学
- ・金沢学院短期大学
- ・金沢星稜大学女子短期大学部
- ・金城大学短期大学部
- ・北陸学院大学短期大学部
- ・小松短期大学
- ・金沢福祉専門学校
- ・石川県立保育専門学園
- ・石川工業高等専門学校
- ・金沢工業高等専門学校
- ・国士館大学
- ・駒澤大学
- ・創価大学
- ・拓殖大学
- ・日本大学
- ・明治大学
- ・立教大学
- ・早稲田大学
- ・(公財) 金沢国際交流財団
- ・小松市国際交流協会
- ・NPO 法人加賀国際交流会
- ・白山市国際交流協会
- ・野々市市国際友好親善協会
- ・石川インターヒューマンネットワーク
- ・石川県公民館連合会
- ・石川県婦人団体協議会
- ・石川県青年団協議会
- ・金沢市・小松市・輪島市青年団協議会
- ・国際ソロプチミスト小松・能登
- ・NPO 法人石川県海外青年交流協議会
- ・石川県商工会女性部・青年部連合会
- ・日本青年国際交流機構石川県支部
- ・石川国際民商事法センター
- ・(公社) 日本国際生活体験協会小松・七尾地区委員会
- ・金沢・小松・輪島各ロータリークラブ
- ・金沢・小松・輪島各ライオンズクラブ
- ・石川県国際理解教育研究協議会
- ・金沢市町会連合会
- ・金沢市公民館連合会
- ・金沢市校下婦人会連絡協議会
- ・石川県日英協会
- ・石川県日伯協会
- ・石川県スウェーデン協会
- ・石川県日伊協会
- ・石川県日本中国友好協会
- ・金沢市日本中国友好協会
- ・石川県ロシア協会
- ・石川ハンガリー友好協会
- ・石川県日韓親善協会
- ・石川日韓友の会 カナダくらぶ
- ・北陸日本スウェーデン (スカンジナビア) 協会
- ・金沢日仏協会
- ・石川インドネシア友好協会
- ・石川ネパール協会
- ・石川県マレーシア友好協会
- ・石川県タイ友好協会
- ・石川・ミャンマー友好協会
- ・石川県日ラオス友好協会
- ・日本ベトナム友好協会石川県支部
- ・東西文化交流協会
- ・ヒッポファミリークラブ
- ・NPO 法人世界の砂漠を緑で包む会
- ・北陸アフリカ協会
- ・金沢グッドウィルガイドネットワーク
- ・(公社) A・F・S日本協会金沢支部
- ・石川県菓子工業組合
- ・大野からくり記念館
- ・(公財) 金沢コンベンションビューロー
- ・共同通信社
- ・NPO 法人ジャパント・ネットワーク

【特別協力】

- ・北國新聞社
- ・北陸放送
- ・テレビ金沢
- ・エフエム石川
- ・ラジオかなざわ
- ・ラジオこまつ
- ・ラジオななお
- ・金沢ケーブルテレビネット

【協 賛】

- ・アルプ
- ・石川県繊維協会
- ・SMBC 日興証券 金沢支店
- ・NTT ドコモ 北陸支社
- ・コマツ
- ・小松ウオール工業
- ・コマニー
- ・損保ジャパン
- ・東京海上日動火災保険
- ・東レ
- ・日本製紙
- ・のり共栄信用金庫
- ・富士通
- ・ホッカツ
- ・北國銀行
- ・北陸交通
- ・北陸銀行
- ・北陸コカ・コーラボトリング
- ・北陸電力
- ・三谷産業 (順不同)

JAPAN TENT 開催委員会事務局

本 部 / 〒920-0919 石川県金沢市南町2番1号 北國新聞会館2階 TEL (076) 260-3470 FAX (076) 260-3469
http://www.japantent.com/ E-mail: office@japantent.com

NPO法人ジャパント・ネットワーク

〒920-0919 石川県金沢市南町2番1号 北國新聞会館2階 TEL (076) 263-1577 FAX (076) 260-3469
http://www.japantent.com/npo/ E-mail: office@japantent.com

